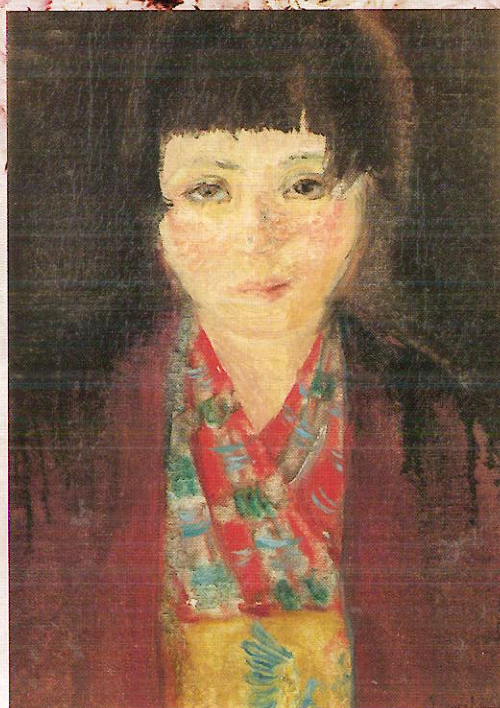


120th
Birth Anniversary

生誕120年記念



三岸節子《自画像》1925年 ©MIGISHI

美術の学校19
座学講座

三岸節子を深掘り!

生誕120年を記念して、三岸節子を深く読み解く講演会を行います。さまざまな視点から、三岸節子の画業、人物、歴史について紐解いていきます。

2025年9月7日(日)

胸の内で鬼が騒ぐ～愛と葛藤の生涯・三岸節子～

講師：堀尾眞紀子氏(文化学園大学名誉教授、日本エッセイスト・クラブ理事長)

2025年9月14日(日)

わが家のおばあ

講師：三岸太郎氏(三岸節子ご令孫)・三岸龍生氏(三岸節子ご曾孫)

【時間】午後2時～3時30分(9月14日は午後3時まで、ともに午後1時30分開場)

【定員】各60名(先着、当日午後1時から整理券配付)

【参加費】各300円(観覧料を含まない)、中学生以下無料



一宮市三岸節子記念美術館

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1
Tel:0586-63-2892 <https://s-migishi.com>



2025年9月7日(日) 午後2時～3時30分(午後1時30分開場)

胸の内で鬼が騒ぐ～愛と葛藤の生涯・三岸節子～

堀尾氏は、19世紀から20世紀にかけての女性画家に強い関心を持ち、長年研究を重ねて来られました。生前、節子と交流をもった美術史家としての観点からの貴重な節子像に迫ります。

講 師：堀尾眞紀子氏(文化学園大学名誉教授、日本エッセイスト・クラブ理事長)

【講師略歴】

東京芸術大学美術学部卒業、同大学院修了。フランス国立パリ美術工芸大学留学。著書に『画家たちの原風景』(日本エッセイスト・クラブ賞受賞、NHK出版)、『鏡の中の女たち』(文化出版局)、『フリーダ・カーロ』(中央公論社)、『フリーダ・カーロ作品集』(東京美術)、『絵筆は語る』(清流出版)、『女性画家10の叫び』(岩波書店)、ほか多数。NHKテレビ『日曜美術館』第3代司会者。



2025年9月14日(日) 午後2時～3時(午後1時30分開場)

わが家のおばば

節子とフランス生活を共にし、晩年は大磯で同居したご家族ならではのエピソードをお話いただきます。

講 師：三岸太郎氏(三岸節子ご令孫)・三岸龍生氏(三岸節子ご曾孫)

【三岸太郎氏略歴】

1960年、東京都中野区生まれ。1968年、祖母・三岸節子、父・三岸黄太郎、母とともに南仏カーニュに移住。1974年、ブルゴーニュ地方の農村・ヴェロンに転居。1979年、日本語の勉強のため帰国。1984年、英国ロンドンで美術史を学ぶ。1988年、帰国。1990年、港区泉岳寺に高輪画廊を設立。1994年、中央区銀座に画廊を移転。



三岸節子《アンダーソンの壺と小鳥》1951年 ©MIGISHI

三岸節子コレクション展「形を見つめる」

2025年7月15日(火)～10月5日(日)

作品に登場するさまざまなモチーフに焦点を当てながら、節子が描き出す独特な“形”を見つめます。

休 館 日：毎週月曜日(7月21日、8月11日、9月15日は開館)、7月22日(火)、8月12日(火)、9月16日(火)、24日(水)

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観 覧 料：一般320円・高大生210円・中学生以下無料

[7月19日(土)～8月31日(日)] 一般500円・高大生250円・中学生以下無料(企画展含む)

※20名以上の団体は2割引 ※一宮市内在住の満65歳以上で住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書等を提示された方、身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳(ミライID可)を持参の方(付添人1人を含む)は無料

※最新情報は当館SNS、ホームページをご確認ください。※当館および一宮市が取材した記録映像・音声等は、加工せずそのままウェブサイトや広報紙に掲載することがあります。



一宮市三岸節子記念美術館

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1 TEL0586-63-2892

<https://s-migishi.com>

【交通案内】JR尾張一宮駅・名鉄一宮駅下車、駅西口

名鉄バスターミナル②番のりばから「起(おこし)」行で約15分、

「起工高・三岸美術館前」バス停下車、徒歩1分

※バスは1時間に約3～4本運行

公式 WEB



✉ @s_migishi_muse



@s.migishi.museum



@s.migishi.museum

